

陸前高田市まちづくり総合計画 体系図

計画名	将来像	基本理念	基本目標	基本政策	主な基本事業	主な指標
陸前高田市まちづくり総合計画	「夢と希望と愛に満ち 次世代につながる 共生と交流のまち 陸前高田」	1 創造的な復興と防災・減災による安全・安心なまちづくり 2 ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり 3 次世代につながる持続可能なまちづくり	1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり	① 多重防災型の災害に強い安全なまちづくりを推進する ② 快適で魅力ある都市空間、都市機能を創出するまちづくりを推進する ③ 公共施設の再建や市民サービスの回復など、安定した市民の暮らしの再興を推進する ④ 産業基盤の早期復興と新規企業立地を推進する ⑤ 地球環境にやさしいエネルギーを活用したまちづくりを推進する ⑥ 地域の特性やコミュニティ活動を生かした協働によるまちづくりを推進する	・防潮堤等整備の促進 ・減災に寄与する道路整備 ・新市街地ゾーンの整備、交流ゾーンの形成 ・公共交通体系の復旧と再整備の促進 ・災害復興公営住宅等の整備促進 ・居場所づくり・健康づくりの推進 ・生活再建への支援 ・中小企業者等の再建・事業拡大支援 ・公共施設の太陽光発電施設の導入 ・地区コミュニティ別居住地域の再生	
			2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	1 生活道路・交通環境を整備する 2 水道水の安定供給と適切な下水処理を推進する 3 住環境整備を促進する 4 地域の伝統や文化を大切にする 5 生涯学習を推進する	・市道の整備 ・新たな公共交通ネットワークの構築 ・安全・安心・安定した水道水の供給 ・一般住宅への支援 ・良好な景観形成の推進 ・自然・歴史・文化資源の保護と継承 ・歴史と風土に培われた文化財の保存と活用 ・学びの場となる施設の整備・充実	・市道整備率 ・市内を運行する公共交通の利用者数 ・水道普及率 ・住まいるリフォーム支援事業助成件数 ・景観形成基準に適合している建築物等の割合 ・市民芸術祭参加者数 ・各種講座等参加者数 ・市民文化会館利用者数
			3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える 7 消防・救急体制の充実を図る 8 交通安全を推進する 9 防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する 10 自然環境の保全に努める 11 ごみの減量と資源の活用を図る	・地域防災力の向上 ・防災教育の推進 ・消防団員の確保 ・交通安全意識の高揚 ・防犯活動の推進・体制強化 ・消費者保護と情報提供の充実 ・自然環境の保全 ・ごみ減量化の推進 ・新エネルギーの利用促進	・自主防災組織率 ・消防団員数 ・救急講習受講者数 ・交通事故発生件数 ・刑法犯発生件数 ・川・海の環境基準 ・環境教育・出前講座の開催回数 ・市民1人1日当たりのごみ排出量 ・新エネルギー利用促進助成件数
			4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	12 安心して子どもを産み育てられる環境を整える 13 一人ひとりを大切にした学校教育を推進する 14 知・徳・体を真に備えたたくましい人づくりを推進する 15 家庭や地域の教育力を高める 16 安全・安心な学校教育環境を整える	・子育て環境の積極的支援 ・保育サービスの充実 ・長期にわたる児童生徒の心のケアの実施 ・確かな学力を育む教育の推進 ・豊かな心を育む教育の推進 ・たくましい子どもを育てる家庭教育の支援 ・地域全体で子どもを育てる環境づくり ・小中学校の安全と教育環境の整備	・出生数 ・児童公園等の整備 ・いじめ解消率 ・学習定着度状況調査における「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合 ・学校支援ボランティアの登録者数 ・たかた子どもキャンパスの参加者数 ・通学路安全点検危険箇所改善率
			5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり	17 共生のまちづくりを推進する 18 市民の健康づくりを推進する 19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える	・ユニバーサルデザインの推進 ・高齢者の生活支援の推進 ・疾病の重症化予防 ・市民のスポーツの機会の創出 ・地域医療の充実	・就労困難者就労者数 ・介護予防教室の参加者数 ・スポーツ教室等参加者数 ・気仙地区の医師数(10万人当たり) ・未来かなえネット登録者数
			6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり	20 仕事と生活の調和を図り、男女共同参画を推進する 21 協働によるまちづくりを推進する 22 住民活動を支援する 23 地域間の交流を促進する	・仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)の推進 ・まちづくり団体(NPO等)による地域活動の支援 ・住民による地域活動の推進 ・新たなコミュニティ推進体制の構築 ・友好都市との交流や都市間交流の促進 ・交流人口の拡大、移住・定住の促進	・仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数 ・まちづくり団体活動補助金による支援件数 ・コミュニティ活動推進補助金を利用した事業数 ・自治会館等の整備支援件数 ・友好都市等交流事業開催数 ・U・Iターン者数
			7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	24 農業の振興を図る 25 林業の振興を図る 26 水産業の振興を図る 27 商工業の振興を図る 28 地産地消とブランド化を推進する 29 地域資源を活かした観光振興を推進する 30 魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える	・農地の利用集積 ・農業基盤整備の促進 ・自伐型林業の推進 ・再造林の促進 ・新規漁業就業者の確保定着と育成 ・商店街の活性化支援 ・地域の特性を活かしたブランド化推進 ・安心・安全な地元産食材の提供 ・観光施設等の整備 ・観光情報の発信 ・魅力ある雇用の創出 ・起業しやすい環境づくり	・新規就農者数 ・自伐型林業により整備した森林面積 ・再造林率 ・新規漁業就業者数 ・イシカゲ貝の水揚量 ・商工会会員数 ・かさ上げ部の土地利活用予定の割合 ・たかたのゆめの栽培面積 ・宿泊者数 ・観光入込客数 ・新規雇用者数 ・市内における起業者の創出件数
			8 市民にわかりやすく健全な行財政運営	31 健全な財政運営を推進する 32 広聴広報活動の充実を図る 33 利便性の高い行政サービスを提供する	・中長期的な財政見通しに基づく財政運営 ・わかりやすい市政情報の提供 ・広聴活動の充実 ・持続可能な行政運営のための仕組みづくり	・実質公債費比率 ・市公式ホームページの閲覧者数 ・市政懇談会への参加者数 ・公共無線LAN整備箇所数

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023		
基本理念1 創造的な復興(より 良い復興)と防災・ 減災による安全・安 心なまちづくり	1 復興の確実な推進 と誰もが安心して暮 らすまちづくり	① 多重防災型の災害に強い安全な まちづくりを推進する											・詠石橋(R4.12) ・津波防災マップ(簡易版)の全戸配付	津波ハザードマップを作成中。
		② 快適で魅力ある都市空間、都市 機能を創出するまちづくりを推進 する											・公共駐車場(R4.8)3ヶ所 ・市民との協働による川原側公園等の除草作業	・市民との協働により川原側公園等の除草作業を実施した。 ・魅力ある水辺空間の創出を図るため、気仙川・川原川復興かわま ちづくり計画策定協議会を開催した。
		③ 公共施設の再建や市民サービス の回復など、安定した市民の暮ら しの復興を推進する											・市立博物館(R4.11) ・ふるさとタクシー助成事業の実施	ふるさとタクシー助成事業について、2022年度から75歳以上の高齢 者の対象地域を市内全域に拡大した。利用金額は少しずつ増えて おり、新たに対象になった地域の人達にも利用されている。
		④ 産業基盤の早期復興と新規企業 立地を推進する											・中小企業被災資産復旧事業費補助金1件 ・被災中小企業復興支援補助金6件 ・企業立地に向けた認定企業者決定1件	新規企業立地のため誘致活動を推進する。
		⑤ 地球環境にやさしいエネルギーを 活用したまちづくりを推進する											・公共施設への太陽光設備の設置工事 (R5年度より運用予定)	設置工事が完了し、本年夏より運用開始している。
		⑥ 地域の特性やコミュニティ活動を 生かした協働によるまちづくりを 推進する											・協働の推進に係る職員研修の開催(10月～12月の期間で月1 回、計3回の職員向けの研修会を開催した) ・市広報による周知及び気運醸成(7月号から1月号まで全7 回の連載を行った)	・各地区コミュニティ推進協議会へのヒアリングを実施(8月)し、現 状や課題を取りまとめた。 ・令和元年度から令和5年度までの協働のまちづくりの実績を市 NPO事務局が取りまとめ、協働のまちづくり事例集を作成した。

【進捗評価 凡例】
A: 順調に推移
B: 概ね順調に推移
C: やや進捗に遅れ
D: 進捗に遅れ
E: 進捗に大幅な遅れ

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	1 生活道路・交通環境を整備する	生活道路・交通環境に満足している人の割合	33.3	40.0	%	37.6				55.0			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		市道改良率	47.0	53.5	%	48.0	49.3	49.6	49.9	50.7	51.4	C:やや進捗に遅れ	33件の改良工事を実施済み。	33件の改良工事を実施済み。
		橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の修繕数(累計)	5	31	橋	7	14	17	23	26	29	C:やや進捗に遅れ	3橋を補修済み。	3橋を補修済み
		市内を運行する公共交通の利用者数	18,000	18,000	人	15,817	15,269	14,904	12,787	15,456	16,897	B:概ね順調に推移	・生出線 5,063人 ・広田線 4,425人 ・広田半島線 1,651人 ・長部今泉線 636人 ・たかたコミュニティバス東部線 1,298人 ・たかたコミュニティバス西部線 1,002人 ・デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 63人 ・デマンド交通気仙エリア 395人 ・デマンド交通小友・広田エリア 923人 ※BRTは計算方法が異なるため現状値・目標値に算入していない。 ※タクシー助成券利用実績 利用人数 5,324人(34,456枚、17,228,000円)	・生出線 5,495人 ・広田線 4,578人 ・広田半島線 1,932人 ・長部今泉線 674人 ・たかたコミュニティバス東部線 1,535人 ・たかたコミュニティバス西部線 1,464人 ・デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 18人 ・デマンド交通気仙エリア 328人 ・デマンド交通小友・広田エリア 873人 ※BRTは計算方法が異なるため現状値・目標値に算入していない。 ※タクシー助成券利用実績 利用人数 5,429人(37,780枚、18,890,000円)
		中心市街地と観光地等を結ぶ2次・3次交通の結節点の整備箇所数	-	1	箇所	1	-	-	-	-	-	A:順調に推移	道の駅高田松原の整備が完了したため、新規の取組は実施していない。	道の駅高田松原の整備が完了したため、新規の取組は実施していない。
	2 水道水の安定供給と適切な下水処理を推進する	水道水の供給と下水処理に満足している人の割合	73.4	80.0	%	72.2				77.7			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		水道普及率	89.1	90.9	%	90.6	93.3	94.0	94.0	94.3	94.5	A:順調に推移	予定していた拡張工事は完了している。	予定していた拡張工事は完了している。
		水道管の耐震化率	27.0	35.4	%	27.0	27.9	27.9	27.9	28.0	28.0	C:やや進捗に遅れ	老朽化した配水管の更新を優先的に進めており、基幹管路(導・送水管)の耐震化工事を施工しなかった。	引き続き老朽化した配水管の更新を優先的に進めており、基幹管路(導・送水管)の耐震化工事は施工していない。
		浄化槽設置率	49.0	54.2	%	53.1	52.6	54.4	57.1	59.0%	56.7	A:順調に推移	・補助金交付実績 16基	・補助金交付実績 21基
		公営企業会計化進捗率	19.0	100.0	%	55.0	89.4	92.0	93.3	100.0	100.0	A:順調に推移	2022年度に目標達成	2022年度に目標達成
	3 住環境整備を促進する	住環境に満足している人の割合	62.0	70.0	%	70.3				70.5			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		住まいるリフォーム支援事業助成件数(累計)	369	520	件	401	453	501	538	589	657	A:順調に推移	・助成件数 51件	・助成決定件数 68件
		景観形成基準に適合している建築物等の割合	-	90.0	%	0	100.0	100.0	100.0	100	100	A:順調に推移	・建築物の新築に係る申請受付件数 18件(全件適合)	・建築物の新築に係る申請受付件数 14件(全件適合)
		運動公園利用者数	-	10,000	人	0	0	36,010	49,099	60,687	60,543	A:順調に推移	・第1野球場 10,374人 ・第2野球場 4,022人 ・屋内練習場 913人 ・第1サッカー場 6,060人 ・第2サッカー場 5,707人 ・その他 2,353人	・第1野球場 15,920人 ・第2野球場 11,849人 ・屋内練習場 3,110人 ・第1サッカー場 12,299人 ・第2サッカー場 12,622人 ・その他 4,743人

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	4 地域の伝統や文化を大切にする	地域の伝統や文化の保護・活用に満足している人の割合	56.7	70.0	%	62.1				74.9			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		市民芸術祭参加者数	1,881	1,900	人	1,828	1,662	645	934	1,390	1,594	B:概ね順調に推移	部門別参加者数の内訳 ・展示部門 711人(小・中学生作品含む) ・舞台部門 616人 ・会席部門 63人	部門別参加者数の内訳 ・展示部門 713人(小・中学生作品含む) ・舞台部門 824人 ・会席部門 57人
		文化財報告会及び展示会参加者数	323	330	人	235	627	0	0	0	649	A:順調に推移	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。	共立ソリューションズ講演会「気仙GOLD浪漫」81人 みちのくGOLD浪漫パネル展 420人 文化財報告会 148人
		教育普及事業(出前講座、博物館教室、中沢浜貝塚関連事業)参加者数	305	310	人	1,130	997	222	301	85	1,406	A:順調に推移	・博物館教室 2回	・旧吉田家住宅主屋復旧見学会 618人 ・三陸花火大会体験ブース 218人 ・生涯学習出前講座 27人 ・ふるさとが好きなになる講座シリーズ 19人(図書館) ・野鳥観察会 16人 ・古文書講座 67人 ・子ども向けワークショップ 110人 ・博物館教室 40人 ・出前博物館 291人
	5 生涯学習を推進する	生涯学習の推進に満足している人の割合	69.7	75.0	%	68.5				64.6			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		各種講座等参加者数	6,200	6,200	人	6,373	5,239	2,170	1,800	2,450	3,497	C:やや進捗に遅れ	・生涯学習出前講座 延べ631人 ・自主企画講座 延べ747人 ・地域づくり・人づくり市民講座 ※開催なし ・文化芸術講座 延べ260人 ・盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座 24人 ・公民館講座 延べ788人 ※一部の地区のみ開催	・生涯学習出前講座 延べ1,308人 ・自主企画講座 延べ596人 ・文化芸術講座 延べ439人 ・盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座 33人 ・公民館講座 延べ1,121人
		各種講座等参加者の評価	90.0	92.0	%	96.8	95.7	96.4	95.8	87.0	96.8	A:順調に推移	・生涯学習出前講座 アンケート集計なし ・自主企画講座 アンケート回答者10人 ・地域づくり・人づくり市民講座 ※開催なし ・文化芸術講座 アンケート回答者 105人 ・盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座 アンケート回答者24人 ・公民館講座 アンケート回答者46人	・生涯学習出前講座 アンケート集計なし ・自主企画講座 アンケート回答者 8人 ・文化芸術講座 アンケート回答者 157人 ・盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座 アンケート回答者30人 ・公民館講座 アンケート回答者 59人
		博物館利用者数	-	14,000	人	-	-	-	-	30,020	59,308	A:順調に推移	・出前博物館 11回 ・からっぽ博物館 2回	・博物館協議会 2回 ・特別展及び企画展 4回 ・博物館教室 2回 ・出前博物館 17回
		図書館利用者数	31,408	50,000	人	138,646	127,065	68,860	70,251	80,402	97,492	A:順調に推移	・図書館協議会 2回 ・企画展示 22回 ・定例おはなし会 23回 ・図書館イベント 4回 ・移動図書館定期運行	・図書館協議会 2回 ・企画展示 39回 ・定例おはなし会 23回 ・図書館イベント 11回 ・移動図書館定期運行
		市民文化会館利用者数	-	63,000	人	-	-	4,639	11,802	20,335	48,643	A:順調に推移	利用者は前年度から大幅に増加したが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、利用に制限を設けてのイベント開催となった。 ○実施した主な自主企画イベント ・レイクチャー実演会 能楽とオペラへの招待 ・さんりく音楽祭2022夏 こころのビタミンプロジェクトin陸前高田 佐渡裕(指揮)&スーパーキッズ・オーケストラ東日本大震災復興祈念コンサート ・能/オペラ「海士〜AMA〜」 ・大事MANブラザーズ立川俊之&サムライ・アパートメントコンサート	入館者数が増加し、奇跡の一本松ホールを利用する催事も様々な分野に広がっている。 ○主な自主企画イベント ・入船亭扇辰落語会(いりふねていせんたつ) 9/16 ・陸上自衛隊第9音楽隊コンサート 12/17 ・さとう宗幸コンサート 2/24

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える	防災意識の普及と防災・減災体制に満足している人の割合	68.6	75.0	%	72.8				84.3			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		防災メール登録者数	2,000	3,000	人	2,440	2,571	3,018	3,271	3,427	3,565	A:順調に推移	広報、チラシ、出前講座等により周知した。	広報、チラシ、出前講座、消防・防災フェスタ2023等で周知した。
		自主防災組織率	66.8	100.0	%	64.6	65.2	66.4	64.1	63.7	63.1	C:やや進捗に遅れ	高田地区コミュニティ推進協議会と連携して、高台地区等の未結成地区を含めた地域のリーダーを対象に防災出前講座を実施する等、組織化への支援を実施した。また、自主防災組織リーダー研修会の開催(12/17)により、組織の機能強化を図った。	未結成地区に対して、結成に向けた相談を実施した。また、活動範囲が津波浸水想定区域に含まれる自主防災組織に対して、新たな補助制度を創設し、活用について周知を図った。併せて、自主防災組織等を対象とした出前講座を行うとともに、自主防災組織リーダー研修会の開催(1/16)により、組織の機能強化を図った。
		防災マイスター資格取得者数(累計)	-	200	人	41	52	52	80	100	115	B:概ね順調に推移	防災マイスター養成講座を開催(5月から12月まで全8回)し、20名を認定した。	防災マイスター養成講座を開催(5月から12月まで全8回)し、15名を認定した。また、5月には、防災マイスター有志による活動組織(防災マイスターの集い)が結成され、消防・防災フェスタ2023への出展等により、市民への普及啓発が行われた。
		津波避難訓練参加者数	2,053	3,000	人	2,276	2,310	-	-	2,611	2,660	B:概ね順調に推移	令和4年3月に岩手県が公表した最大クラスの津波浸水想定を受けて、津波避難対象区域の見直しを行った上で、津波防災マップ(簡易版)を作成し、全戸配付を行うとともに、これらの内容を踏まえ、岩手県総合防災訓練(10/29)において、津波避難等訓練を実施した。	11/5(津波防災の日、世界津波の日)に、津波避難等訓練を実施した。また、新たに、オートコールとAIによる災害時双方向情報伝達システムの運用を開始し、津波避難等訓練の中で、システムを活用した安否確認訓練を実施した。
	7 消防・救急体制の充実を図る	消防・救急体制に満足している人の割合	84.3	87.0	%	81.0				81.4			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		消防団員数	631	631	人	632	594	587	574	578	523	C:やや進捗に遅れ	・入団者 10人 ※消防団活動について、市公式ウェブサイト・広報等で周知した。また、消防施設へのポスター掲示や消防・防災フェスタ2023において対面による入団促進を行った。	・入団者 13人 ※消防団活動について、市公式ウェブサイト・広報等で周知した。また、消防施設へのポスター掲示や消防・防災フェスタ2023において対面による入団促進を行った。
		救急講習受講者数	855	855	人	966	840	163	183	330	670	C:やや進捗に遅れ	・救急講習等 30回 377人 ※プールや海水浴場の開設に伴う講習や、保育施設や高齢者施設での講習を実施した。今後は、自治会や事業所、各種団体の受講促進を図り、救命処置の普及に努める。	・救急講習等 54回 670人 ※プールや海水浴場の開設に伴う講習や、保育施設や高齢者施設での講習を実施した。今後は、自治会や事業所、各種団体の受講促進を図り、救命処置の普及に努める。
		防火講習等受講者数	2,984	2,984	人	3,121	3,386	0	53	62	2,213	C:やや進捗に遅れ	・防火講習等 12回 935人 ※保育施設、学校及び自治会、事業所を対象に防火講習や消火訓練、避難訓練を実施した。	・防火講習等 32回 2,213人 ※保育施設、学校及び自治会、事業所を対象に防火講習や消火訓練、避難訓練を実施した。
	8 交通安全を推進する	交通安全の推進に満足している人の割合	48.8	60.0	%	43.1				56.1			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		交通事故発生件数	434	400	件	420	384	299	315	296	297	A:順調に推移	○全国交通安全運動の推進 ・春の全国交通安全運動(4/6～4/15) ・夏の交通事故防止県民運動(7/15～7/24) ・秋の全国交通安全運動(9/21～9/30) ・冬の交通事故防止県民運動(12/15～12/24) ○市内交通安全施設の点検整備 ・7/4、7/5 市内小中学校通学路等 点検60箇所 ○正しい交通ルールを守る運動県民大会への参加 ・11/17 盛岡市都南文化会館	○全国交通安全運動の推進 ・春の全国交通安全運動(5/11～5/20) ・夏の交通事故防止県民運動(7/15～7/24) ・秋の全国交通安全運動(9/21～9/30) ・冬の交通事故防止県民運動(12/15～12/24) ○市内交通安全施設の点検整備 ・7/5、7/6 市内小中学校通学路等 点検63箇所 ○正しい交通ルールを守る運動県民大会への参加 ・11/8 盛岡市都南文化会館
	9 防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する	防犯体制の強化と安心なまちづくりの推進に満足している人の割合	57.0	65.0	%	58.2				61.2			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		刑法犯発生件数	37	30	件	32	24	22	11	18	36	C:やや進捗に遅れ	○地域安全運動の実施 ・春の地域安全運動(4/6～4/15 4/6地域安全パレード) ・秋の地域安全運動(10/11～10/20 10/11地域安全パレード) ・年末年始地域安全運動(12/15～1/3 12/15地域安全パレード) ○市内各地区防犯協会による地区見守り活動 ○防犯連絡所125箇所、子ども110番の家239箇所(うち新規2箇所)を指定 ○啓発用のぼり旗等用具の購入 ○研修会等への参加 ・防犯パトロール実施者講習会(10/5 コミュニティホール)	○地域安全運動の実施 ・春の地域安全運動(4/6～4/15) ・秋の地域安全運動(10/11～10/20) ・年末年始地域安全運動(12/15～1/3) ※それぞれの期間中に地域安全パレードの実施 ○市内各地区防犯協会による地区見守り活動 ○防犯連絡所123箇所を指定 ○子ども110番の家を238箇所(うち新規1箇所)設置並びにステッカーの配布 ○啓発用具の購入 ○研修会等への参加 ・防犯パトロール実施者講習会(11/1)

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念1 創造的な復興(より良い復興)と防災・減災による安全・安心なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	10 自然環境の保全に努める	自然環境の保全に満足している人の割合	68.4	75.0	%	72.1				76.8			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		川の環境基準(BOD75%値環境基準)	1.3	1.0以下	mg/l	0.6	0.7	0.5未満	0.5未満	0.7	0.6	A:順調に推移	・矢作川、気仙川0.5未満 ・浜田川0.7	・矢作川、気仙川、川原川、浜田川0.5未満
		海の環境基準(COD75%値環境基準)	1.6	1.5以下	mg/l	－	1.6	1.5	1.3	1.1	1.2	A:順調に推移	・広田湾東側、中央、西側	岩手県による公共用水域水質調査実施済。
		環境教育・出前講座の開催回数	－	2	回	4	6	2	2	2	2	A:順調に推移	環境教育を実施した。(竹駒小、矢作小)	・環境教育を実施した。(竹駒小、米崎小)
	11 ごみの減量と資源の活用を図る	ごみの減量と資源の活用に満足している人の割合	58.2	70.0	%	56.1				60.1			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		市民1人1日当たりのごみ排出量	619	610	g	632	628	625	617	627	622	C:やや進捗に遅れ	・資源集団回収登録団体 14団体 ・コンポスト設置補助数 3基 ・電動生ごみ処理機設置補助数 11基 ・木製コンポスト設置補助数 1基 ・EMIぼかし補助数 0基	・資源集団回収登録団体 13 団体 ・コンポスト設置補助数 3基 ・電動生ごみ処理機設置補助数 7基 ・木製コンポスト設置補助数 1基 ・EMIぼかし補助数 1基
		新エネルギー利用促進助成件数	40	40	回	73	42	35	24	15	25	C:やや進捗に遅れ	・太陽光システム導入補助 13件 ・木質バイオマス(薪ストーブ等)導入補助 2件	・太陽光システム導入補助 19件 ・木質バイオマス(薪ストーブ等)導入補助 6件

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	12 安心して子どもを産み育てられる環境を整える	子どもを産み育てる環境に満足している人の割合	41.2	60.0	%	46.5				57.5			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		出生数	94	110	人	91	86	90	74	64	62	C:やや進捗に遅れ	・母子手帳交付時の面談(67件(転入者含む)) ・妊産婦相談 訪問指導の実施(妊婦訪問54件、産婦訪問65件)、産後ケア 4件の実施(必要に応じ) ・両親教室 6回 ・祖父母教室 2回 ・離乳食教室 5回 ・特定不妊治療への補助金交付 新規1名、継続6名 ・多機関連携による妊産婦及び乳幼児への支援(必要に応じ) ・思春期教育 9回 ・出産子育て応援給付金(令和5年2月～) 140件	・母子手帳交付時の面談 54件(転入者含む) ・妊産婦相談 訪問指導の実施(妊婦訪問56件、産婦訪問 61件)、産後ケア 2件を実施(必要に応じ) ・両親教室 6回 ・祖父母教室 2回 ・離乳食教室 6回 ・思春期教育 11回 ・出産子育て応援給付金(令和5年2月～) 131件
		児童公園等の整備(累計)	4	6	箇所	4	5	6	6	6	6	A:順調に推移	児童公園等の整備実績なし(2020年度までに目標達成)	2020年度に目標達成
		U・Iターン者数	55	100	人	118	49	101	30	217	278	A:順調に推移	○移住定住総合支援業務 ・移住相談件数 104件 ・空き家バンク成約件数 11件 ・移住定住イベント開催回数 7回	○移住定住総合支援業務 ・移住相談件数 182件 ・空き家バンク成約件数 8件 ・移住定住イベント開催回数 13回
		高等職業訓練促進給付費等事業(ひとり親家庭対象)の受給者数	1	2	人	1	0	1	1	0	0	C:やや進捗に遅れ	受給申請なし。給付金の支給対象となる資格の拡大や通信教育による資格取得も可能とする要綱改正を行った。	受給申請なし
	13 一人ひとりを大切にした学校教育を推進する	一人ひとりを大切にした学校教育の推進に満足している人の割合	62.2	70.0	%	55.3				60.9			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		「こころとからだの健康観察」における要サポート児童生徒の割合	小12.9 中11.2	小10.9 中 9.2	%	小12.0 中14.0	小13.8 中15.8	小14.1 中14.6	小14.1 中11.8	小16.8 中14.2	小19.2 中14.8	C:やや進捗に遅れ	「こころとからだの健康観察」の結果から、震災関連のほか、新型コロナウイルス感染に対する不安等の増加が見られたため、スクールカウンセラーや養護教諭を中心とした組織的な教育相談体制を構築すると共に保護者や医療機関との連携を図った。	「こころとからだの健康観察」を実施した。観察結果をもとに各学校において、スクールカウンセラーや養護教諭、担任を中心に教育相談やカウンセリング等を活用しフォローに努めた。保護者や医療機関等とも連携し組織的なサポートを実施した。
		学校不適応児童生徒出現率	小0.13 中2.65	小0.00 中2.35	%	小0.42 中3.49	小0.43 中2.40	小0.58 中1.82	小0.31 中1.89	小0.32 中2.14	小1.59 中3.63	B:概ね順調に推移	児童生徒連絡会議、適応支援教室での対応、個別ケース会議等で、組織的に情報を共有し協議することで、広い視野から生徒指導上の課題や不適応児童生徒の対応にあたった。	児童生徒連絡会議を3回開催し、関係機関との情報共有及び学校不適応児童生徒への支援方針を確認した。組織的に情報を共有し協議することで、広い視野から生徒指導上の課題や不適応児童生徒の支援・対応にあたった。
		いじめ解消率	80.0	100.0	%	93.3	100.0	78.7	79.1	92.3	94.4	B:概ね順調に推移	いじめ防止等対策協議会を組織し、学校内外にいじめの未然防止、早期発見、解決及び情報モラルに関する指導を進めた。また、いじめ認知についても積極的にを行い、解消率の向上に向けて組織的に対応を進めるようにした。	「いじめ防止等対策協議会」を開催し、本市における状況や対策等の協議を行った。また、12月のいじめ防止啓発月間において、ポスターを作成し関係機関の取組み等を周知するとともに、2月に「いじめ防止等対策協議会」を開催し、いじめ解消に努めた。
	14 知・徳・体を真に備えたたくましい人づくりを推進する	知・徳・体を真に備えたたくましい人づくりの推進に満足している人の割合	70.4	75.0	%	74.1				73.3			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		学習定着度状況調査における「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	小92.1 中77.2	小93.1 中78.2	%	小90.5 中81.2	小91.0 中79.6	小88.8 中84.8	小91.5 中85.6	小86.6 中82.0	小95.6 中84.0	C:やや進捗に遅れ	指導と評価の一体化を重視し、市内小・中学校における授業改善を図ったが、進捗に遅れが見られたことから、一人一台端末の利活用の促進や授業改善の一層の充実を図るため、ICT推進研修会や学力向上研修会の立ち上げを検討した。	ICT推進研修会や学力向上研修会を実施し、教員のスキルアップを図った。また、4月から指導主事による各校への訪問指導を実施しており、引き続き訪問指導を実施することにより、教員の授業改善を図った。
		「人の気持ちがわかる人間になりたい」と思っている児童生徒の割合	小66.0 中80.0	小68.0 中82.0	%	小70.0 中81.0	小74.0 中81.0	小80.0 中91.0	小91.6 中93.7	小94.6 中98.3	小100 中96.5	A:順調に推移	スクールカウンセラーやジャンプスクール等の関係機関と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりに寄り添う支援を継続している。また、各学校において特別の教科道徳や復興教育・各教科等の指導を通して、自己肯定感を高めたり、他者と関わる大切を育成した。	「学級づくり研修会」を実施し、児童生徒一人一人の人権が尊重される学級・授業づくりについての研修を行った。児童生徒の現状や課題について各校との共通理解を図り、人権教育や道徳教育の推進を継続して呼びかけていく。また、スクールカウンセラーやジャンプスクール等の関係機関と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりに寄り添う支援を実施した。
		体力・運動能力調査の総合評価全5段階のうちA・B・C段階の児童生徒の割合	小76.0 中82.7	小78.0 中83.7	%	小80.3 中82.1	小77.9 中83.1	—	小78.2 中80.9	小79.8 中80.5	小76.2 中74.7	B:概ね順調に推移	感染症予防に留意しながら、各校の実態に応じて県教育委員会の取組である「60プラス運動」や各校の部活動等を通して体力向上の取組を実施した。	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い運動会やマラソン大会等は通常開催された。また、県教育委員会の取組である60プラス運動を推進し、家庭の協力を得ながら、望ましい運動習慣の形成、生活習慣や食習慣の改善を図っている。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	15 家庭や地域の教育力を高める	家庭や地域の教育力に満足している人の割合	69.9	75.0	%	75.7				75.1			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		各種学級等参加者数	1,934	1,940	人	2,182	1,680	252	516	750	952	C:やや進捗に遅れ	・保育所(園)等家庭教育学級 10回 延べ154人 ・小・中学校家庭教育学級 15回 延べ525人 ・家庭教育講座 3回 延べ31人 ・乳幼児学級 延べ7回 延べ40人	・保育所(園)等家庭教育学級 12回 延べ203人 ・小・中学校家庭教育学級 17回 延べ650人 ・家庭教育講座 4回 延べ48人 ・乳幼児学級 延べ9回 延べ51人
		各種学級等参加者の評価	77.0	80.0	%	95.0	96.6	97.8	89.5	99.2	98.4	A:順調に推移	・保育所(園)等家庭教育学級 アンケート回答者数 延べ92人 ・小・中学校家庭教育学級 アンケート回答者数 延べ186人 ・家庭教育講座 アンケート回答者数 延べ14人 ・乳幼児学級 アンケート回答者数 延べ22人	・保育所(園)等家庭教育学級 アンケート回答者数 延べ116人 ・小・中学校家庭教育学級 アンケート回答者数 延べ243人 ・家庭教育講座 アンケート回答者数 延べ23人 ・乳幼児学級 アンケート回答者数 延べ37人
		学校支援地域本部の設置数(累計)	9	10	箇所	10	10	10	10	10	10	A:順調に推移	2018年度において全校に設置が完了した。	2018年度において全校に設置が完了した。
		学校支援ボランティアの登録者数	100	110	人	210	120	185	249	214	225	A:順調に推移	統括・地域コーディネーター会議を開催し、制度の周知を図る等、登録者数の維持に努めた。	統括・地域コーディネーター会議を4回開催し、制度の周知を図る等、登録者数の維持に努めた。
		たかた子どもキャンパスの参加者数	212	220	人	229	355	176	229	229	368	A:順調に推移	学校と連携しながら、放課後子ども教室における学習支援等を実施した。	放課後子ども教室が5回(R4)から9回(R5)と開催回数が増加し、土曜の教育支援活動については、前年と同様の7回実施した。
	16 安全・安心な学校教育環境を整える	学校教育環境に満足している人の割合	66.0	70.0	%	68.4				74.8			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		通学路安全点検危険箇所改善率	35.0	40.0	%	33.3	31.9	26.7	25.6	63.2	60.3	A:順調に推移	通学路合同安全点検を実施し、挙げられた68カ所の危険箇所中、43カ所が改善された。また、整備予定箇所として8カ所が挙げられている。	通学路合同安全点検を実施し、挙げられた63カ所の危険箇所中、38カ所が改善された。また、整備予定箇所として7カ所が挙げられている。
		学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、実践に取り組んでいる小中学校の割合	100	100	%	100	100	100	100	100	100	A:順調に推移	市内すべての学校において、学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、地域の実情に合わせた防災教育を実施した。	市内すべての学校において、学校教育計画の計画に沿って避難訓練等を適切に実施した。また、学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、地域の実情に合わせた防災教育を実施した。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり	17 共生のまちづくりを推進する	共生のまちづくりの推進に満足している人の割合	45.6	60.0	%	44.1				46.8			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		再建した店舗のうちユニバーサルデザイン認証を受けた店舗の割合	-	50.0	%	0.0	22.2	28.0	22.0	21.8	21.0	C:やや進捗に遅れ	1件を認証。商政課と連携してユニバーサルデザイン推進補助金の周知を図る。	認証件数0件。引き続き商政課と連携してユニバーサルデザイン推進補助金の周知により、認証店舗の増加を図った。
		就労困難者就労者数(累計)	6	25	人	9	11	17	21	28	37	A:順調に推移	7名が一般就労に繋がり、就労開始した。個別相談対応、グループワーク、個々の適性検査を実施し、相談者へのより細やかな支援を展開した。	9名が一般就労に繋がり、就労開始した。個別相談対応、グループワーク、個々の適性検査を実施し、相談者へのより細やかな支援を展開した。
		はまかだスポット数(累計)	314	350	箇所	329	193	193	229	244	281	C:やや進捗に遅れ	・新規スポット登録及び現況調査によるスポット数の更新(コロナ禍で活動を中止していたスポットも徐々に再開し、新規スポットも増加した。) ・はまかだ運動推進会議 10回	・新規スポット登録及び現況調査によるスポット数の更新を行った。(変更2件 新規37件) ・はまかだ運動推進会議 10回
	18 市民の健康づくりを推進する	市民の健康づくりの推進に満足している人の割合	80.2	85.0	%	83.0				84.5			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		介護予防教室の参加者数	3,715	4,000	人	2,115	1,984	658	907	1,033	1,201	C:やや進捗に遅れ	コロナ禍においても地域での自主活動を安心して継続できるよう、感染予防の普及啓発や定期訪問による後方支援に力を入れた。 ・介護予防教室 実施箇所数43か所、実施回数79回	・介護予防教室 実施箇所数33か所、実施回数95回
		チャレンジデー参加率	76.1	75.0	%	69.3	59.7	-	20.8	29.3	30.3	C:やや進捗に遅れ	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施した。 参加人数:5,378人 対戦相手:和歌山県上富田町(44.2%、6,928人) ○主な実施種目 ・体力、運動能力測定会、ピッチングスイングスピードコンテスト、グラウンドゴルフ、ニュースポーツ体験会、ストレッチ等、ヨガ教室、ウォーキング	参加人数:5,445人 対戦相手:秋田県男鹿市(60.7%、15,043人) ○主な実施種目 ・全身活性化軽運動、チャレンジカップ(サッカー)、ちよっとリアル野球盤(軟式野球)、ストレッチ等、グラウンドゴルフ、デスクワーク向けエクササイズ、ウォーキング、ランニング
		スポーツ教室等参加者数	56	600	人	502	564	346	1,030	1,407	1,270	A:順調に推移	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施した。 ・水泳教室(幼児・ジュニア・一般):1,022人、ヨガ教室:136人、バランスポール教室:93人、かけっこ:20人、陸上:11人、筋トレ:49人、ダンス:52人、DJ:3人、SUP:21人	・水泳教室(幼児・ジュニア・一般):811人、ヨガ教室:120人、バランスポール教室:74人、かけっこ:23人、陸上:17人、筋トレ:84人、ダンス:125人、SUP:12人、DJ:4人
		夢アリーナたかた(総合交流センター、B&G海洋センター)利用者数	-	160,000	人	95,087	94,433	58,654	66,124	85,850	82,942	C:やや進捗に遅れ	新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら利用を促した。 ・多目的ホール:23,279人、アリーナ:11,951人、トレーニングルーム他:23,695人、プール:26,925人	・多目的ホール:20,089人、アリーナ:11,458人、トレーニングルーム他:23,339人、プール:28,056人
	19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える	医療・介護・福祉体制に満足している人の割合	48.1	60.0	%	49.5				52.6			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		気仙地区の医師数(10万人当たり)	156	160	人	149	149	143	160	159	167	A:順調に推移	医師の確保について、県への要望活動を実施した。	医師の確保について、県への要望活動を実施した。
		未来かなえネット登録者数	3,333	3,800	人	3,707	3,651	3,509	3,560	3,538	3,640	C:やや進捗に遅れ	・広報1月号での各戸配付を実施。 ・要支援者等への登録勧奨を行った。	・広報1月号での各戸配付を実施。 ・後期高齢者の訪問対象者へ個別の登録勧奨を行った。(327件中284件実施)

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念2 ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
6 市民と築く交流 と連携の住みよ いまちづくり	20 仕事と生活の調和を図り、 男女共同参画を推進する	仕事と生活の調和や男女共同参画の推進に満足している人の割合	42.7	60.0	%	43.0				55.6			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		仕事と生活の調和に関する講演会等の参加者数	-	100	人	5	93	65	52	0	0	E:進捗に大幅な遅れ	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、講演会等を実施しなかった。	仕事と生活の調和については、講演会等の実施は行わなかったが、周知等に努めた。
		各種審議会等における女性委員の登用率	18.5	30.0	%	18.5	17.9	18.7	21.0	20.9	22.7	B:概ね順調に推移	令和5年3月に男女共同参画会議を行い、市の現状などについて委員各位と共有し、引き続き女性委員登用の推進を図ることとした。市広報により男女共同参画に関する記事を連載(7月号～1月号、計7回)し、周知及び気運の醸成を図った。	・審議会等の女性比率 22.7% ・各審議会等においても積極的に女性登用が進んでいる。
		仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数	5	20	件	5	1	5	5	6	5	D:進捗に遅れ	商工会において、会員への会報送付の際に資料を同封し、両立支援行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画)の策定に係る周知を図った。	商工会と連携して市内事業者向けに、両立支援行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画)の策定について、市公式ウェブサイトなどで周知を図り、計画策定を促進した。
	21 協働によるまちづくりを推進する	協働によるまちづくりの推進に満足している人の割合	62.1	65.0	%	60.5				66.3			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		まちづくり団体活動補助金による支援件数	-	5	件	0	0	0	0	0	6	A:順調に推移	令和5年3月要綱策定 各種団体への周知、広報等による市民等への周知を行い、令和5年5月から申込み受付を開始する	・事業完了団体6件 補助金交付決定実績額1,466千円 ・法人3団体 任意3団体
		協働によるまちづくりに関する研修会等の開催数	-	2	回	0	1	-	0	3	0	C:やや進捗に遅れ	市職員を対象に協働のまちづくりに関する研修会を3回開催した 10/25 17名 11/15 18名 12/20 16名 計 51名	・8月に市内11地区コミュニティ推進協議会へのヒアリングを実施し、地域の実情、現状、課題等に関する確認と共有を行なった。 ・まちづくり協働センターと共に、「まちづくり協働の事例集」を作成した。
	22 住民活動を支援する	住民活動の支援に満足している人の割合	68.3	75.0	%	62.9				69.6			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		コミュニティ活動推進補助金を利用した事業数	-	11	事業	0	78	105	117	117	143	A:順調に推移	(2019年度から地域交付金制度開始) 11地区のコミュニティ推進協議会において117事業を実施した。	地域交付金制度を継続して実施する。 ・11地区 143事業 計53,479千円
		自治会館等の整備支援件数(累計)	38	62	件	41	43	50	55	61	66	A:順調に推移	・改修 6件(喜多公民館、泊いこいハウス、矢作町15区公民館、一心会館、堂の沢公民館、釘の子集会所)	・改修5件(谷地公民館、山崎公民館、清水部落会館、堂の沢公民館、小ヶ口公民館)
	23 地域間の交流を促進する	地域間交流の促進に満足している人の割合	83.0	85.0	%	81.8				81.5			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		友好都市等交流事業開催数	15	20	回	23	17	-	3	5	9	B:概ね順調に推移	○シンガポール(ホストタウン) ・高田高校生の共生社会を学ぶシンガポール派遣事業 ・高田高校生とシンガポール学生との共生社会アート交流 ○クレセントシティ市(姉妹都市) ・高田高校実習船カモメ漂着10周年記念タイルアート展示 ・クレセントシティ市訪問団歓迎市民交流イベントの開催 ・デルノータ高校から短期留学生を迎え高田高校、市内小中学校及びホストファミリーとの交流 ○名古屋市 ・3/23絆の日に関する記念交流 ○武雄市 ・物産まつりへの相互出展	○シンガポール(ホストタウン) ・高田高校生の共生社会を学ぶシンガポール派遣事業 ・高田高校生とシンガポール学生との共生社会アート交流 ○クレセントシティ市(姉妹都市) ・高田高校実習船カモメ漂着10周年記念タイルアート展示 ・クレセントシティ市訪問団歓迎市民交流イベントの開催 ・デルノータ高校から短期留学生を迎え高田高校、市内小中学校及びホストファミリーとの交流 ○名古屋市 ・3/23絆の日に関する記念交流 ・教育委員会絆協定に基づく中学生相互訪問交流 ○武雄市 ・物産まつりへの相互出展 ・武雄市への旅行支援補助金
		【再掲】U・Iターン者数	55	100	人	118	49	101	30	217	278	A:順調に推移	○移住定住総合支援業務 ・移住相談件数 104件 ・空き家バンク成約件数 11件 ・移住定住イベント開催回数 7回	○移住定住総合支援業務 ・移住相談件数 182件 ・空き家バンク成約件数 8件 ・移住定住イベント開催回数 13回

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	24 農業の振興を図る	農業の振興に満足している人の割合	36.9	40.0	%	38.3				33.7			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		新規就農者数(累計)	1	13	人	2	3	4	7	8	8	B:概ね順調に推移	関係機関と連携した営農相談やほ場見学会を実施し、幅広く就農希望者の掘り起こしを実施した。	・就農相談件数 6件
		たかたのゆめの栽培面積	56	70	ha	51	61	63	59	59	55	C:やや進捗に遅れ	新型コロナウイルス感染症の影響による米価の下落傾向が続いたほか、国際情勢の緊迫化による生産資材等の高騰により栽培面積が減少したが、ブランド化研究会を中心に栽培技術の向上に努め、反収の向上による収量の増加を図った。	・作付農家数 27(前年比-5)、作付面積55.2ha(前年比-2.8ha)
	25 林業の振興を図る	林業の振興に満足している人の割合	37.3	40.0	%	37.4				36.3			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		新規林業就業者数(累計)	-	12	人	3	3	3	3	5	5	D:進捗に遅れ	森林組合において、事務職員及び現場職員を各1名採用。	昨年度に補助対象経費を拡充した林業担い手対策事業費補助金制度の周知を図るとともに、国、県、市町、森林組合等の関係機関で構成する気仙地方林業振興協議会において、管内の高校生を対象とした林業職場体験を2回開催するなどの取組を行った。
		自伐型林業により整備した森林面積	-	20	ha	6.91	12.98	12.06	9.39	5.43	0	D:進捗に遅れ	個人の林業者等により5.43ha間伐した。	間伐材搬出促進事業費補助制度の周知を図ったが、当年度の間伐の届出はなかった。
		再造林率	5.0	20.0	%	0.9	9.5	14.95	14.83	24.15	20.89	A:順調に推移	伐採50.55haに対し、再造林(植栽)を12.21ha行った。私有林の再造林を推進するための補助制度を新設した。	伐採96.56haに対し、再造林(植栽)を20.15ha行った。そのうち私有林での植栽4.56haにおいては、R4年度に新設した森林づくり推進補助金を活用した。
	26 水産業の振興を図る	水産業の振興に満足している人の割合	47.1	50.0	%	34.4				45.2			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		新規漁業就業者数(累計)	9	20	件	12	12	16	18	20	21	A:順調に推移	新規就業者に対する補助制度を大幅に拡充し、マッチング等の支援を行った結果、2名の新規就業者があった。	いわて水産アカデミーの卒業生1名に対して、今後、漁協の正組合員となるための支援を行うとともに、昨年度までに正組合員となった新規漁業者に対して資機材支援等の支援を行う。また、R5年度在校生1名に対して、卒業後の独立に向けた支援を行った。
		水産加工業新規就業者数(累計)	2	7	人	2	10	16	34	45	65	A:順調に推移	民間企業の自助努力もあり、目標を大幅に上回る正社員の増加に繋がった。	水産業まつりにおける水産加工業の周知活動や民間企業の自助努力もあり、目標を大幅に上回る正社員の増加に繋がった。
		サケ(気仙川)の水揚量	36,413	38,000	尾	45,950	15,368	28,360	7,865	9,220	3,581	E:進捗に大幅な遅れ	海洋環境の変化等の影響により、県内全体で厳しい水揚げ状況が続いていることから、回帰率上昇のため、放流したサケの稚魚が捕食されないよう放流稚魚の大型化による不漁対策を行った。	海洋環境の変化等の影響により、県内全体で厳しい水揚げ状況が続いていることから、回帰率上昇のため、漁協が負担するサケ種卵購入経費に係る支援を行うとともに、岩手県に対し、重点要望として原因の究明と抜本的対策を要望した。
		イシカゲ貝の水揚量	68,127	100,000	kg	53,499	43,358	33,466	62,733	84,248	58,658	D:進捗に遅れ	生産体制強化のための資機材購入等に係る支援を行った。また、天然種苗が不安定であることが、水揚量のバラつきに繋がっていることから、人工種苗の生産技術確立に向けた取組を継続して実施している。	天然種苗が不安定であることが、水揚量のバラつきに繋がっていることから、人工種苗の生産技術確立に向けた研究に対して支援を行った。前年度までは水揚量が順調に推移していたが、海況の変化により減産となった。
		アワビの水揚量	3,460	3,500	kg	3,747	654	249	4,686	4,972	5,722	A:順調に推移	餌となる海藻の磯焼け対策を図るため、陸前高田市藻場再生活動組織や関係機関と連携を図りながら藻場再生のための取組を行った。	アワビの資源量増加を目的として、餌となる海藻の磯焼け対策を実施するため、陸前高田市藻場再生活動組織や関係機関と連携し、国の補助事業を活用した磯焼け対策事業を実施した。
		カキの水揚量	86,559	90,000	kg	94,479	77,977	89,430	91,611	81,266	60,017	A:順調に推移	広田湾産水産物販売促進補助金を活用したオンライン販売が好調だった。また、水揚量は概ね順調であった。	広田湾産水産物販売促進補助金を活用したオンライン販売が好調だった。また、海況の変化により一時的に水揚量は減少したが、需要が多いことから、単価が上昇したことにより水揚げ金額に大きな落ち込みは見られなかった。
			4,354,201	4,500,000	粒	4,216,307	4,927,448	4,209,123	5,508,262	5,921,606	4,024,141	A:順調に推移	広田湾産水産物販売促進補助金を活用したオンライン販売が好調だった。また、アウトドア人気による需要もあって水揚量は前年度を上回った。	広田湾産水産物販売促進補助金を活用したオンライン販売が好調だった。また、海況の変化により一時的に水揚量は減少したが、需要が多いことから、単価が上昇したことにより水揚げ金額に大きな落ち込みは見られなかった。
		ホタテの水揚量	224,947	230,000	kg	82,905	98,955	62,405	122,323	118,295	115,384	E:進捗に大幅な遅れ	貝毒が頻繁に発生し、水揚げに大きな影響を与えたため、岩手県に対して、原因の究明と抜本的対策を要望した。市独自支援として、貝毒自主検査に対しての費用支援や貝毒による出荷規制が解除された12月に漁協オンラインサイトにおけるキャンペーン販売の補助支援を実施した。	貝毒の原因究明と抜本的対策について、岩手県への要望を行うとともに、有害プランクトンの生物学的防除に係る研究に対して協力を行っている。貝毒自主検査に対しての費用支援や貝毒による出荷規制が解除された12月に漁協オンラインサイトにおけるキャンペーン販売の補助支援を実施した。
		ホヤの水揚量	127,531	133,000	kg	86,202	130,603	51,322	65,628	95,065	95,445	D:進捗に遅れ	前年度の約1.5倍に回復したが、国内のホヤの主要輸出先だった韓国の輸入禁止措置による需要減少や貝毒被害による影響もあり、目標値を下回る水揚げ量となった。	前年度より水揚量は微増したが、国内のホヤの主要輸出先だった韓国の輸入禁止措置による需要減少や高水温・貝毒被害による影響もあり、目標値を下回る水揚げ量となった。
		ワカメの水揚量	783,624	820,000	kg	526,601	677,263	664,767	713,900	835,540	576,299	A:順調に推移	広田湾産水産物販売促進補助金を活用したオンライン販売が好調であり、水揚量は前年度を上回った。	海況の変化により水揚量は減少したが、需要が多いことから、単価が上昇したことにより水揚げ金額に大きな落ち込みは見られなかった。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	27 商工業の振興を図る	商工業の振興に満足している人の割合	49.4	60.0	%	42.8				44.5			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		商工会会員数	535	600	事業所	539	543	542	541	536	538	C:やや進捗に遅れ	被災中小企業向けに資産復旧に資する補助金の支給や小口の事業資金を借り入れた際の利子・信用保証料の補給、商工会を通じた経営改善普及や地域振興事業の実施を支援した。	商工会を通じた経営改善普及や地域振興事業の実施を支援するほか、経営発達支援事業を推進することにより商工業の活性化を図った。
		かさ上げ部の土地利活用予定の割合(面積比)	15.9	45.0	%	36.0	38.0	39.2	40.9	43.9	44.3	B:概ね順調に推移	土地利活用促進バンクについて、宅建業者等の協力により、取引価格の公表を進めたところ、利活用の促進につながった。 また、新たに支援制度を創設に向けた協議等を行った。	土地利活用促進バンクについて、宅建業者等の協力により、取引価格の公表を進めたところ、利活用の促進につながった。 また、支援制度のパンフレットを作成して周知に努めた。
	28 地産地消とブランド化を推進する	地産地消とブランド化の推進に満足している人の割合	62.6	65.0	%	58.0				66.1			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		【再掲】たかたのゆめの栽培面積	56	70	ha	51	61	63	59	59	55	C:やや進捗に遅れ	新型コロナウイルス感染症の影響による米価の下落傾向が続いたほか、国際情勢の緊迫化による生産資材等の高騰により栽培面積が減少したが、ブランド化研究会を中心に栽培技術の向上に努め、反収の向上による収量の増加を図った。	・作付農家数 27(前年比-5)、作付面積55.2ha(前年比-2.8ha)
		【再掲】イシカゲ貝の水揚量	68,127	100,000	kg	53,499	43,358	33,466	62,733	84,248	58,658	D:進捗に遅れ	生産体制強化のための資機材購入等に係る支援を行った。また、天然種苗が不安定であることが、水揚量のバラつきに繋がっていることから、人工種苗の生産技術確立に向けた取組を継続して実施している。	天然種苗が不安定であることが、水揚量のバラつきに繋がっていることから、人工種苗の生産技術確立に向けた研究に対して支援を行った。前年度までは水揚量が順調に推移していたが、海況の変化により減産となった。
	29 地域資源を活かした観光振興を推進する	地域資源を活かした観光振興の推進に満足している人の割合	34.4	50.0	%	22.8				39.3			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		宿泊者数	18,944	35,000	人	23,168	68,728	37,475	23,211	38,965	42,196	A:順調に推移	観光誘客促進事業を実施 観光パスポート発給枚数:9,592枚 宿泊代金割引キャンペーン利用数:9,265人泊 地域クーポン券付与枚数:27,117枚	観光誘客促進事業を実施 観光パスポート発給枚数:11,169枚 宿泊代金割引キャンペーン利用数:7,964人泊 地域クーポン券付与枚数:15,926枚
		観光入込客数	528	1,000	千人回	488	1,036	749	929	1,193	1,355	A:順調に推移	観光誘客促進事業を実施 観光パスポート発給枚数:9,592枚 宿泊代金割引キャンペーン利用数:9,265人泊 地域クーポン券付与枚数:27,117枚	地域資源を活かした観光振興事業を実施 ・三陸花火大会 約10,000人、三陸花火競技大会 約26,000人 ・高田松原・広田海水浴場 25,442人 ・道の駅高田松原 666,610人
	30 魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える	雇用の創出と起業しやすい環境の整備に満足している人の割合	22.7	60.0	%	29.2				27.8			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		新規雇用者数(累計)	56	350	人	199	338	632	964	1,296	1,629	A:順調に推移	ふるさとハローワークとの連携を図るとともに、就職相談会を3回実施した。	ふるさとハローワークとの連携を図るとともに、就職相談会を2回実施した。
		市内における起業者の創出件数(累計)	-	5	件	5	16	40	47	53	57	A:順調に推移	チャレンジショップ入居者の独立に向けた支援を実施した。また、陸前高田市新規起業家支援事業費補助金により、起業家支援を行った。	チャレンジショップ入居者の独立に向けた支援を実施予定。また、引き続き陸前高田市新規起業家支援事業費補助金等により、起業家支援を促進する。
		ビジネスプランコンテスト応募件数(累計)	12	50	件	17	0	3	12	0	0	E:進捗に大幅な遅れ	応募者がなかったため、事業を取りやめた。	ビジネスプランコンテストに代わる起業家支援策を検討している。

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり

基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値						進捗評価	2022年度取組実績	2023年度取組実績
		指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022	2023			
8 市民にわかりやすく健全な行財政運営	31 健全な財政運営を推進する	市の健全な財政運営の推進に満足している人の割合	36.4	50.0	%	26.1				37.7			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		実質公債費比率	14.2	17.0以下	%	15.0	15.0	14.9	14.5	14.2	13.0	A:順調に推移	プライマリーバランスを意識した予算編成及び予算管理を行ったことにより、前年度比より0.3ポイント減となった。	プライマリーバランスを意識した予算管理や交付税算入率の高い起債の選択などを行い、目標を達成できるよう努めている。
	32 広聴広報活動の充実を図る	市の広聴広報活動に満足している人の割合	73.2	75.0	%	73.7				78.2			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		市公式ホームページの閲覧者数	296	330	千人	48,542 (※)	47,799	36,444	305	300	346	A:順調に推移	・閲覧者数 299,649人 ・ページビュー数 1,586,264	・閲覧者数 345,551人 ・ページビュー数 1,601,739
		市公式SNS(フェイスブック等)におけるフォロワー数	28	34	千人	28	28	29	29	30	31	C:やや進捗に遅れ	・Facebook 23,463人 ・ツイッター 5,496人 ・LINE 1,100人	・Facebook 23,294人 ・X(旧ツイッター) 5,633人 ・LINE 1,727人
		市政懇談会への参加者数	427	500	人	382	377	107	341	239	386	D:進捗に遅れ	・市内11カ所 合計239人 (矢作8、広田31、生出20、竹駒20、長部15、高田43、米崎27、小友20、下矢作23、横田18、今泉14)	市内11カ所、合計386人 (広田35、竹駒29、生出17、高田55、今泉33、下矢作28、小友51、米崎44、横田31、長部36、矢作27)
	33 利便性の高い行政サービスを提供する	市の行政サービスに満足している人の割合	49.1	55.0	%	54.1				60.3			市民意識調査を実施した。(R4.12) 有効回収率:41.2%(標本数:2,000(有効:1,977)、回収数:815(有効814))	
		公共無線LAN整備箇所数(累計)	2	25	箇所	22	24	29	29	30	30	A:順調に推移	博物館に新たに設置された。	2023年度の設置予定はなかった。
		情報ポータルサイトの整備件数	-	1	件	0	0	1	0	0	0	A:順調に推移	・0件(R2年度:新ポータルサイト構築、R3年度:運用開始)	・0件(R2年度:新ポータルサイト構築、R3年度:運用開始)